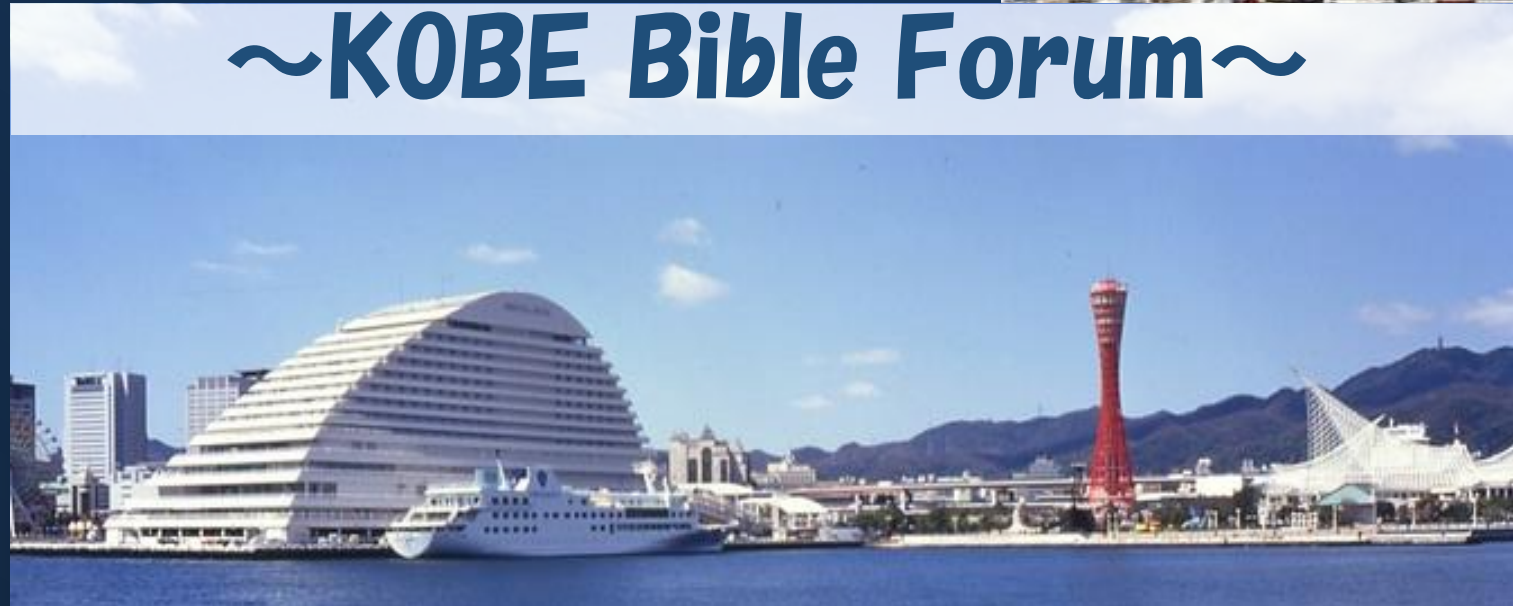


Bible Forum in KOBE

~KOBE MOTOMACHI Bible Forum~



~KOBE Bible Forum~



ニックネーム
KBF(神戸ビーフ)
KMBF(コンビーフ)

第3回 神戸元町聖書フォーラム

クレイ聖書解説コレクション
「ヨハネの黙示録」講解
黙示録4：1～5：14

2016/3/26(土)

お願い！

このパワーポイント資料は

Clay クレイ聖書解説コレクション 「ヨハネの黙示録」

を基に作成しております。

ハーベスト・タイム・ミニストリーズから発売の
電子書籍版か書籍版(紙版)テキストと合わせて
必ずご参照・ご活用下さい！

*神戸聖書フォーラムでまとめ買いしております。
お求めの際はお気軽にお声掛け下さい。

1. イントロダクション

1. 神のご計画の全貌（全体構造）を再確認！



2. 終末論の全貌（全体構造）を再確認！



3. 「ヨハネの黙示録」の全体構造を再理解！

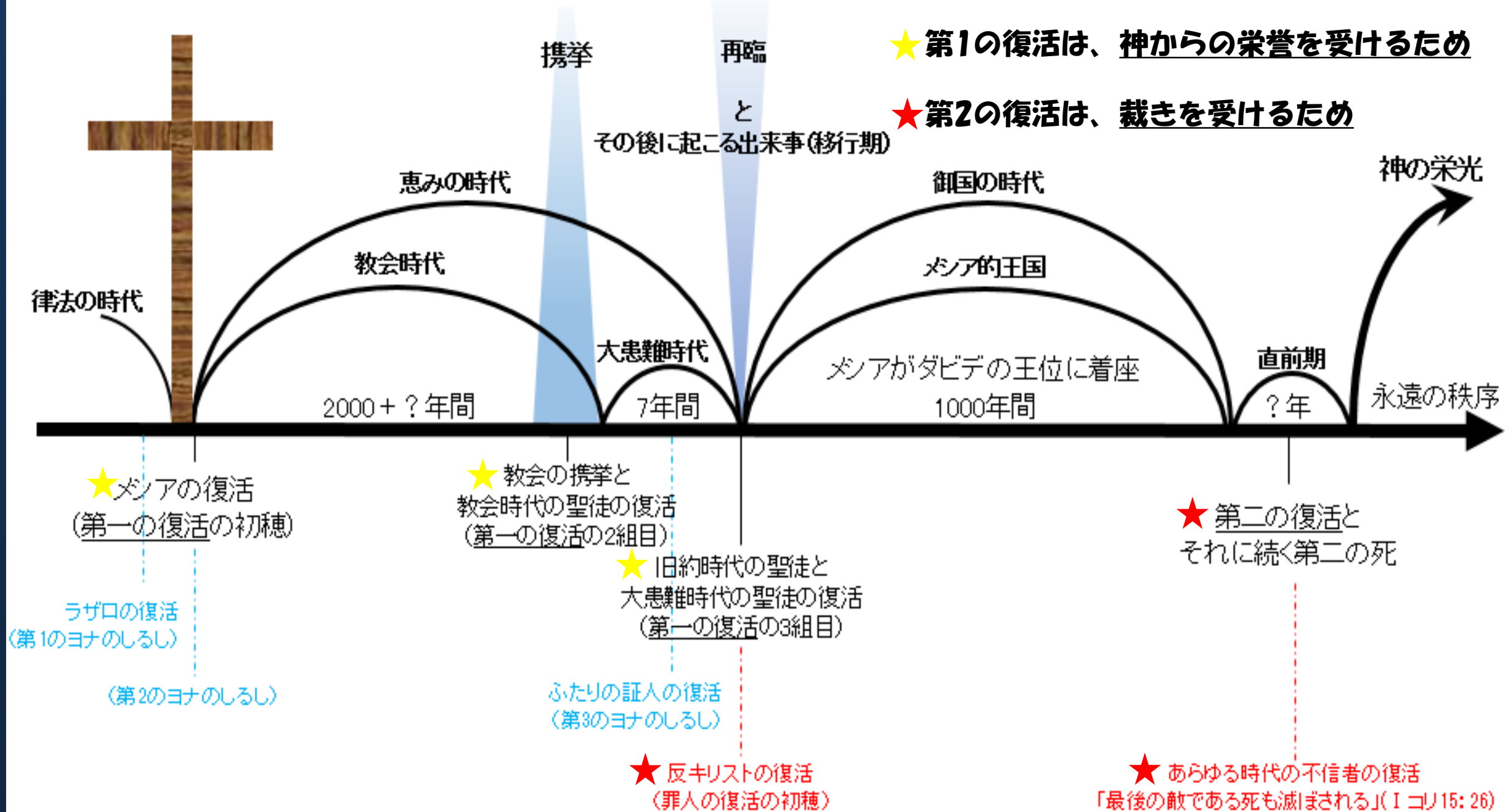
全体構造理解の大前提！

ティスペンセーションリズム

定義「ティスペンセーションとは
神の計画が進展していく過程において出現する
明確に区分可能な神の経緯（時代・時代区分）

- (1) 聖書を字義通りに解釈
- (2) イスラエルと教会を一貫して区別。
神がユダヤ民族と
アブラハム契約を結ばれたこと
それが永遠の契約であることを認める。
- (3) 歴史を貫くテーマは「神の栄光」

時代区分	過去					現在	未来	神の栄光 時間を 超越した 永遠の秩序 <u>黙21:1</u> ~ <u>22:5</u>
	① ~無垢の 時代~	② ~良心の 時代~	③ ~人間による 統治の時代~	④ ~約束の 時代~	⑤ ~律法の 時代~	⑥ ~恵みの 時代~	⑦ ~御国の 時代~	
聖書箇所	創1:28 ~3:8	創3:9 ~8:14	創8:15 ~11:32	創12:1 ~出18:27	出19:1 ~使徒1:26	使徒2:1 ~黙19:21	黙20:1 ~10	
中心人物	アダム	アダム	ノア	アブラハム	モーセ	パウロ	メシア	
1. エデン契約 聖書箇所	→ ・創1:26~31・創2:16~17							
2. アダム契約 聖書箇所		【2】 ・創3:14~19						
3. ノア契約 聖書箇所			【3】 ・創9:1~17					
4. アブラハム契約 聖書箇所				【4】 ・創12:1~3 ・創12:7・創13:14~17 ・創15:1~21 ・創17:1~21 ・創22:15~18				
5. モーセ契約 聖書箇所					【5】 ・出19:3~8 ・広くは出20:1~31:18			
6. 土地の契約 聖書箇所				→【6:土地】	・申29:1~30:1 *特に申29:1に注目			
7. ダビデ契約 聖書箇所				→【7:子孫】	・Ⅱサム7:11b~17(ソロモン強調) ・Ⅰ歴17:10b~15(メシア強調)			
8. 新しい契約 聖書箇所					→【8:祝福】 ・エレ31:31~34			



序言「まえがき」(1:1～3) -----> 1:1「イエスキリストの黙示」

あいさつ(1:4～8) -----> 1:7「黙示録のテーマ」

I. ヨハネが見た事: 栄光に輝く人の子(1:9～20)-----> 1:19「黙示録のアウトライン」

II. 今ある事: 教会時代(2:1～3:22)

III. この後に起こる事(4:1～22:5)

1. 大患難時代の前に起こる出来事(4:1～5:14)

七つの封印を開く前の天の様子(4:1～5)

天使と24人の長老たちの礼拝(4:6～11)

七つの封印で封じられた巻物(5:1～7)

天での礼拝(5:8～14)

15

16

17

18

★ 本日
第3回

→ 再臨までのプロセス

2. 大患難時代(6:1～18:24)

(1)大患難時代の前半に起こる出来事(6:1～9:21)

(2)大患難時代の中間に起こる出来事(10:1～14:20)

(3)大患難時代の後半に起こる出来事(15:1～16:21)

(4)反復:2つの大バビロン(17:1～18:24)

3. 再臨とその後に起こる出来事(19:1～20:3)

4. メシア的王国(20:4～6)

5. その後の出来事(20:7～15)

6. 永遠の御国(21:1～22:5)

-----> クライマックスは再臨

結論(22:6～21)

1) 1 : 1 「イエスキリストの黙示」

「1:1 イエス・キリストの黙示。これは、すぐに起こるはずの事をそのしもべたちに示すため、神がキリストにお与えになったものである。そしてキリストは、その御使いを遣わして、これをしもべヨハネにお告げになった。」

2) 1 : 7 「黙示録のテーマ」

「 1:7 見よ、彼が、雲に乗って来られる。すべての目、ことに彼を突き刺した者たちが、彼を見る。 地上の諸族はみな、彼のゆえに嘆く。 しかり。 アーメン。 」

3) 1 : 19 「黙示録のアウトライン」

「1:19 そこで、あなたの見た事、今ある事、この後に起こる事を書きしるせ。 」

黙示録の要点

(1)黙示録のテーマは、**主の再臨とそのプロセス**(黙1:7)

(2)再臨の条件は、**ユダヤ人の民族的回心**(ゼカリヤ12:10)

(3)終末論の出来事の流れ

携挙→大患難時代→ユダヤ人の民族的回心→メシアの再臨→千年王国

(4)大患難時代の反ユダヤ主義の最大目的は、霊的なもの**(再臨の阻止)**

(5)執筆経緯は「**迫害の中にいる人々**」と「**教会全体**」への励ましと矯正

「22:7 見よ。わたしはすぐに来る。この書の預言のことばを**堅く守る**者は、幸いである。」

「堅く守る」とは、「心に留め見張っている状態」を言います。

黙示録のテーマを理解し、主の大いなる再臨の日を待ちましょう！

そして再臨の条件であるユダヤ人の民族的回心を祈りつつ、教会としての責務を果たしましょう！

ユダヤ人のための祈り

イザ62:6~7

「エルサレムよ。わたしはあなたの城壁の上に見張り人を置いた。昼の間も、夜の間も、彼らは決して黙っていてはならない。【主】に覚えられている者たちよ。黙りこんではならない。主がエルサレムを堅く立て、この地でエルサレムを栄誉とされるまで、黙っていてはならない」

- ①神は、天使たちをエルサレムの城壁の上に置いた。
- ②天使たちも、神の約束の成就のために祈り続ける。
- ③イザヤが見た千年王国のエルサレムを特徴づけるキーワード
喜び（イザ65：17~19）と平安（イザ66：10~14）

II. 第3回) 黙示録4～5章アウトライン

はじめに

①天使について

②普遍的教会について

(1)4 : 1～5 「七つの封印を開く前の天の様子」

(2)4 : 6～11 「天使と24人の長老たちの礼拝」

(3)5 : 1～7 「七つの封印で封じられた巻物」

(4)5 : 8～14 「天での礼拝」

III. 今後学ぶことの展望(最終回まで)

序言「まえがき」(1:1～3)

あいさつ(1:4～8)

I. ヨハネが見た事: 栄光に輝く人の子(1:9～20)

II. 今ある事: 教会時代(2:1～3:22)

III. この後に起こる事(4:1～22:5)

1. 大患難時代の前に起こる出来事(4:1～5:14)

七つの封印を開く前の天の様子(4:1～5)	15
天使と24人の長老たちの礼拝(4:6～11)	16
七つの封印で封じられた巻物(5:1～7)	17
天での礼拝(5:8～14)	18

← 第3回(3/26) ★

2. 大患難時代(6:1～18:24)

(1)大患難時代の前半に起こる出来事(6:1～9:21)

(2)大患難時代の中間に起こる出来事(10:1～14:20)

(3)大患難時代の後半に起こる出来事(15:1～16:21)

(4)反復: 2つの大バビロン(17:1～18:24)

3. 再臨とその後に起こる出来事(19:1～20:3)

4. メシア的王国(20:4～6)

5. その後の出来事(20:7～15)

6. 永遠の御国(21:1～22:5)

← 第4回(4/16) 6～7章、第5a回(5/28) 8～9章

← 第5b回(5/28) 10～11章、第6回(6/25) 12～14章

← 第7回(7/16)

← 第8回(8/27)

← 第9回(9/24) 19章

← 第10回(10/29) 20章

← 第11回(11/26)

← 第12回(12/24)

結論(22:6～21)

IV. 結論：教会の運命、行方、希望

- (1) 24人の長老たちとは
- (2) 四つの生き物とは
- (3) 生けるキリストがおられる場所
- (4) 天のオーケストラとは

このメッセージは、
大患難時代の前に起こる出来事について
学ぼうとするものである。

ここからが本論！

...

はじめに

1. 天使について

I. 天使の階級

(1) 一般の天使

- ①「天使」には天的存在全体を指す時と下位の天使を指す時とがある。
- ②ミカエル
- ③ガブリエル
- ④それ以外の無名の天使

(2) セラフィム

- ①イザヤ書と黙示録のみに登場

(3) ケルビム

- ①最高位の天使たち。「護衛」「覆う」という意味。

はじめに

II. 普遍的教会について

II. 普遍的教会について

- (1) 教会（エクレシア）という言葉について
- (2) 普遍的教会の定義
- (3) 普遍的教会の始まり
- (4) 普遍的教会の構成員
- (5) 普遍的教会の土台
- (6) 普遍的教会の目的
- (7) メシアと普遍的教会の関係を象徴する10の事例
- (8) 普遍的教会の将来の運命

黙示録4章

～大患難時代の前に天で起こる出来事～

序言「まえがき」(1:1～3)

あいさつ(1:4～8)

I. ヨハネが見た事: 栄光に輝く人の子(1:9～20)

II. 今ある事: 教会時代(2:1～3:22)

III. この後に起こる事(4:1～22:5)

1. 大患難時代の前に起こる出来事(4:1～5:14)

★	七つの封印を開く前の天の様子(4:1～5)	15
	*ここに上れ	
	*24人の長老たち	
	天使と24人の長老たちの礼拝(4:6～11)	16
	七つの封印で封じられた巻物(5:1～7)	17
	天での礼拝(5:8～14)	18

2. 大患難時代(6:1～18:24)

(1)大患難時代の前半に起こる出来事(6:1～9:21)

(2)大患難時代の中間に起こる出来事(10:1～14:20)

(3)大患難時代の後半に起こる出来事(15:1～16:21)

(4)反復:2つの大バビロン(17:1～18:24)

3. 再臨とその後に起こる出来事(19:1～20:3)

4. メシア的王国(20:4～6)

5. その後の出来事(20:7～15)

6. 永遠の御国(21:1～22:5)

結論(22:6～21)

15) 七つの封印を開く前の天の様子 (4:1~5)

4:1 その後、私は見た。見よ。天に一つの開いた門があった。また、先にラッパのような声で私に呼びかけるのが聞こえたあの初めの声があった。「ここに上れ。この後、必ず起こる事をあなたに示そう。」 4:2 たちまち私は御霊に感じた。すると見よ。天に一つの御座があり、その御座に着いている方があり、 4:3 その方は、碧玉や赤めのうのように見え、その御座の回りには、緑玉のように見える虹があった。 4:4 また、御座の回りに二十四の座があった。これらの座には、**白い衣**を着て、**金の冠**を頭にかぶった二十四人の長老たちがすわっていた。 4:5 御座からいなずまと声と雷鳴が起こった。七つのともしびが御座の前で燃えていた。神の**七つの御霊**である。

24人という人数は 教会全体を象徴する数字

I 歴代誌24：3～5

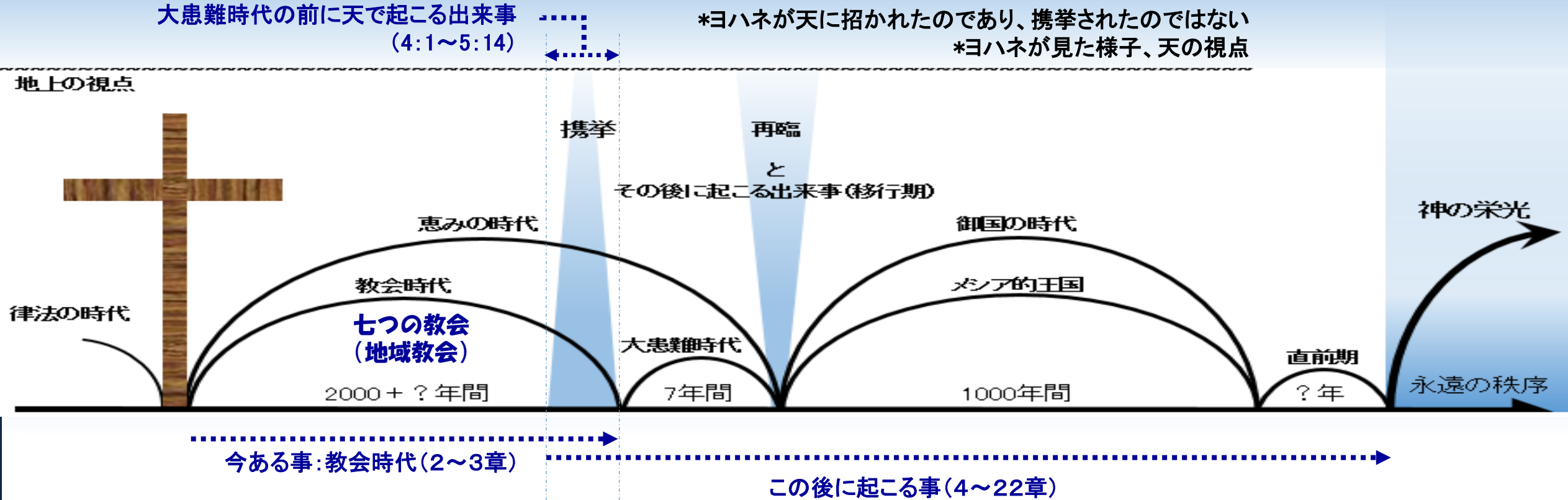
*神殿準備の箇所(22～26章)

3 ダビデは、エルアザルの子孫のひとりツァドク、およびイタマルの子孫のひとりアヒメレクと協力して、彼らをそれぞれの奉仕に任命し、それぞれの組に分けた。



4 エルアザルの子孫のほうが、イタマルの子孫よりも一族のかしらが多かったので、エルアザルの子孫は、父祖の家のかしらごとに**十六組**に、イタマルの子孫は、父祖の家ごとに**八組**に分けられた。 5 彼らはくじを引いて互いにそれぞれの組に分かれた。聖所の組のつかさたち、神の組のつかさたちは、エルアザルの子孫の中にも、イタマルの子孫の中にもいたからである。

1. ひとつの御座と御座についている方(父なる神とシャカイナグローリー)
2. 24人の長老(普遍的教会：白い衣：金の冠：教会全体を象徴)
3. 7つの霊(聖霊の7つの性質：七重の御霊、イザ11：2、黙1：4、3：1、5：4)



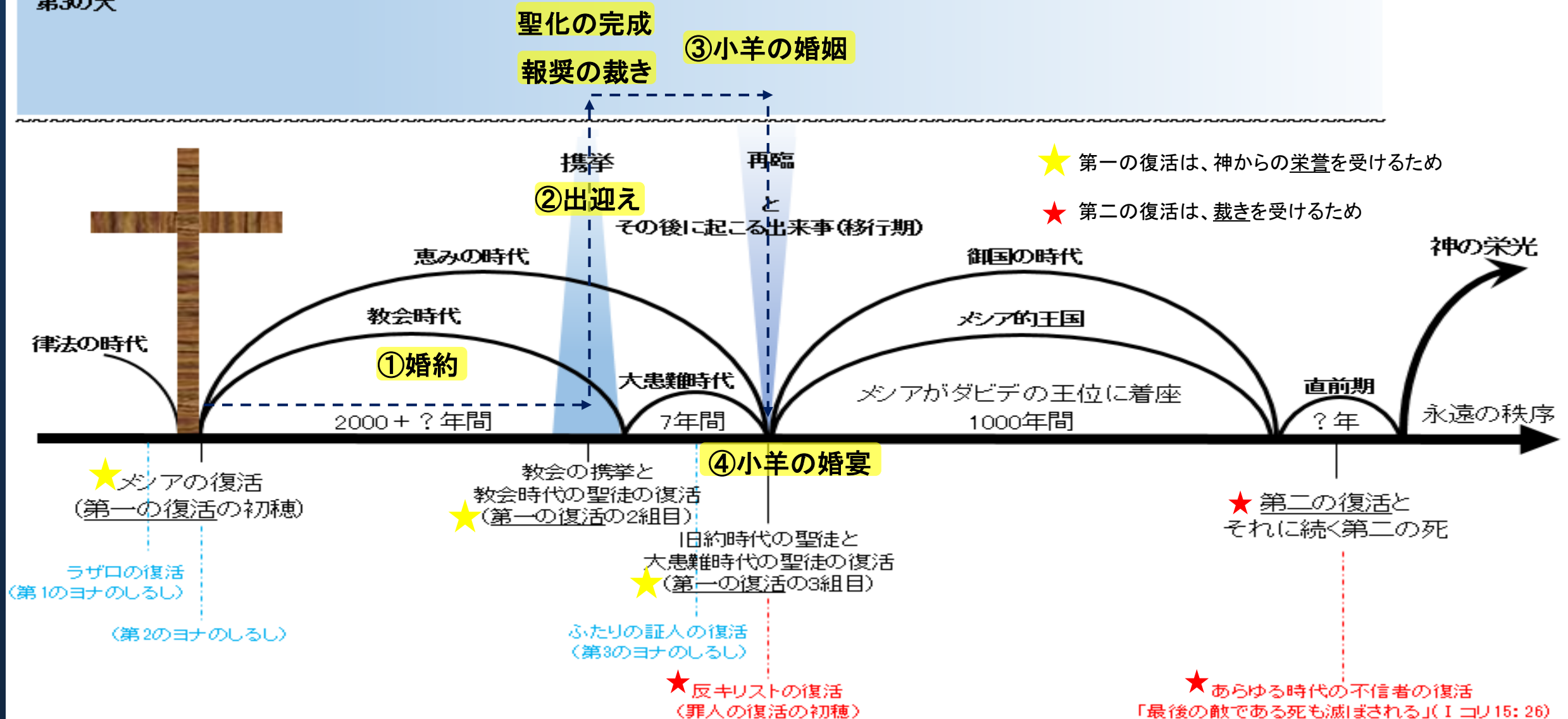
イザヤ11:2 (七つの御霊)

11:2 その上には主の霊がとどまる。それは知恵と悟りの霊、はかりごとと能力の霊、主を知る知識と主を恐れる霊である。



普遍的教会の将来の運命

第3の天



序言「まえがき」(1:1～3)

あいさつ(1:4～8)

I. ヨハネが見た事: 栄光に輝く人の子(1:9～20)

II. 今ある事: 教会時代(2:1～3:22)

III. この後に起こる事(4:1～22:5)

1. 大患難時代の前に起こる出来事(4:1～5:14)



七つの封印を開く前の天の様子(4:1～5) 15

天使と24人の長老たちの礼拝(4:6～11)

*セラフィム

16

*24人の長老たち

七つの封印で封じられた巻物(5:1～7) 17

天での礼拝(5:8～14) 18

2. 大患難時代(6:1～18:24)

(1)大患難時代の前半に起こる出来事(6:1～9:21)

(2)大患難時代の中間に起こる出来事(10:1～14:20)

(3)大患難時代の後半に起こる出来事(15:1～16:21)

(4)反復:2つの大バビロン(17:1～18:24)

3. 再臨とその後に起こる出来事(19:1～20:3)

4. メシア的王国(20:4～6)

5. その後の出来事(20:7～15)

6. 永遠の御国(21:1～22:5)

結論(22:6～21)

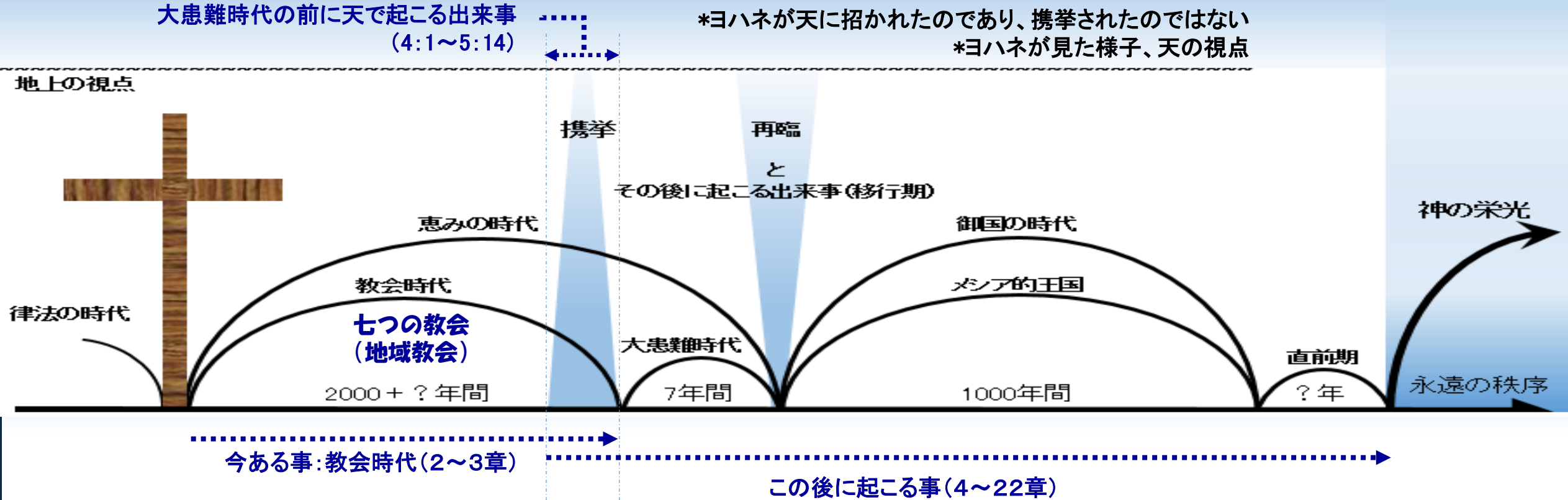
16) 天使と24人の長老たちの礼拝 (4:6~11)

4:6 御座の前は、水晶に似たガラスの海のようにであった。御座の中央と御座の回りに、前もうしろも目で満ちた四つの生き物がいた。 4:7 第一の生き物は、ししのようであり、第二の生き物は雄牛のようであり、第三の生き物は人間のような顔を持ち、第四の生き物は空飛ぶわしのようであった。 4:8 この四つの生き物には、それぞれ六つの翼があり、その回りも内側も目で満ちていた。 彼らは、昼も夜も絶え間なく叫び続けた。 「**聖なるかな、聖なるかな、聖なるかな、聖なるかな。** 神であられる主、万物の支配者、昔いまし、常にいまし、後に来られる方。」



4:9 また、これらの生き物が、永遠に生きておられる、御座に着いている方に、栄光、誉れ、感謝をささげるとき、 4:10 二十四人の長老は御座に着いている方の御前にひれ伏して、永遠に生きておられる方を拝み、自分の冠を御座の前に投げ出して言った。 4:11 「**主よ。われらの神よ。あなたは、栄光と誉れと力とを受けるにふさわしい方です。あなたは万物を創造し、あなたのみこころゆえに、万物は存在し、また創造されたのですから。**」

1. ひとつの御座と御座についている方(父なる神とシャカイナグローリー)
2. 24人の長老(普遍的教会: 白い衣: 金の冠: 教会全体を象徴)
3. 7つの霊(聖霊の7つの性質: 七重の御霊、イザ11: 2、黙1: 4、3: 1、5: 4)
4. 四つの生き物(セラフィム「1獅子」「2雄牛」「3人間」「4鷲」)



イザヤ書 6：1～3 「イザヤの見た幻」

～聖なる神との出会い～

～預言者としての召命～

6：1 ウジヤ王が死んだ年に、私は、高くあげられた王座に座しておられる主を見た。そのすそは神殿に満ち、
6：2 セラフィムがその上に立っていた。彼らはそれぞれ六つの翼があり、おのおのその二つで顔をおおい、二つで両足をおおい、二つで飛んでおり、 6：3 互いに呼びかわして言っていた。「聖なる、聖なる、聖なる、万軍の主。 その栄光は全地に満つ。」

黙示録5章

～大患難時代の前に天で起こる出来事～

序言「まえがき」(1:1～3)

あいさつ(1:4～8)

I. ヨハネが見た事: 栄光に輝く人の子(1:9～20)

II. 今ある事: 教会時代(2:1～3:22)

III. この後に起こる事(4:1～22:5)

1. 大患難時代の前に起こる出来事(4:1～5:14)

★ 七つの封印を開く前の天の様子(4:1～5) 15

天使と24人の長老たちの礼拝(4:6～11) 16

七つの封印で封じられた巻物(5:1～7) 17

*激しく泣くヨハネ 17

*巻物を開くユダ族から出たしし

*ぎょうの霊想: キリストとの関係が変われば

天での礼拝(5:8～14) 18

2. 大患難時代(6:1～18:24)

(1)大患難時代の前半に起こる出来事(6:1～9:21)

(2)大患難時代の中間に起こる出来事(10:1～14:20)

(3)大患難時代の後半に起こる出来事(15:1～16:21)

(4)反復: 2つの大バビロン(17:1～18:24)

3. 再臨とその後に起こる出来事(19:1～20:3)

4. メシア的王国(20:4～6)

5. その後の出来事(20:7～15)

6. 永遠の御国(21:1～22:5)

結論(22:6～21)

17) 7つの封印で封じられた巻物 (5 : 1~7)

「5:1 また、私は、御座にすわっておられる方の右の手に巻き物があるのを見た。 それは内側にも外側にも文字が書きしるされ、七つの封印で封じられていた。 5:2 また私は、ひとりの強い御使いが、大声でふれ広めて、「巻き物を開いて、封印を解くのにふさわしい者はだれか。」と言っているのを見た。 5:3 しかし、天にも、地にも、地の下にも、だれひとりその巻き物を開くことのできる者はなく、見ることのできる者もいなかった。 5:4 巻き物を開くのに、見るのに、ふさわしい者がだれも見つからなかったなので、私は激しく泣いていた。

5:5 すると、長老のひとりが、私に言った。「**泣いてはいけない。 見なさい。 ユダ族から出たしし、ダビデの根が勝利を得たので、その巻き物を開いて、七つの封印を解くことができます。」** 5:6 さらに私は、御座 —そこには、四つの生き物がいる。— と、長老たちとの間に、**ほふられたと見える**小羊が立っているのを見た。 これに七つの角と七つの目があった。 その目は、全世界に遣わされた神の七つの御霊である。 5:7 小羊は近づいて、御座にすわる方の右の手から、巻き物を受け取った。

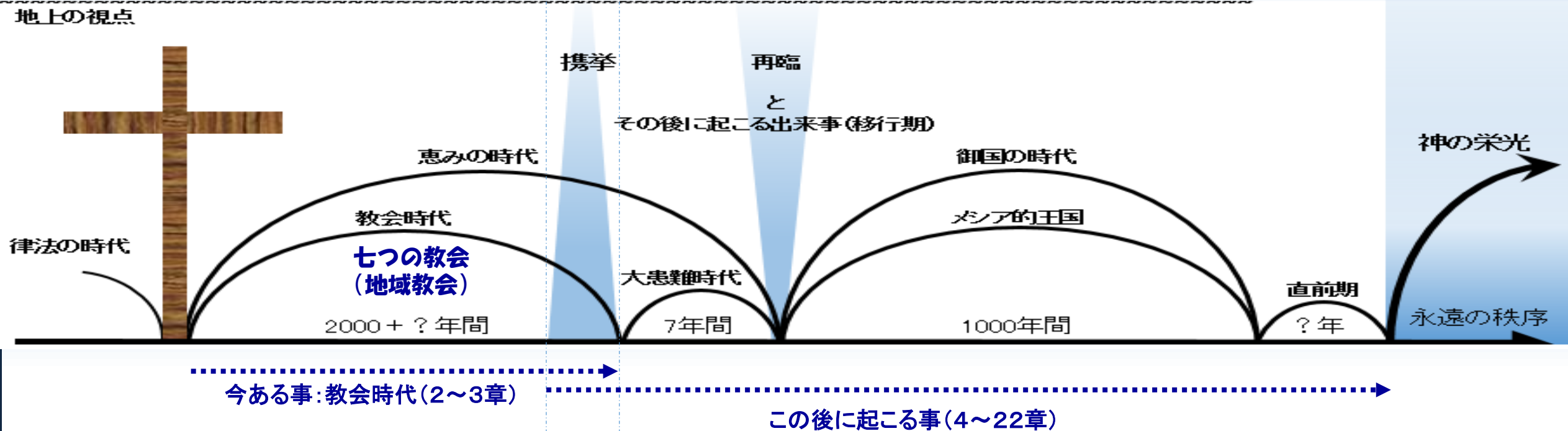
1. ひとつの御座と御座についている方(父なる神とシャカイナグローリー)
2. 24人の長老(普遍的教会: 白い衣: 金の冠: 教会全体を象徴)
3. 7つの霊(聖霊の7つの性質: 七重の御霊、イザ11: 2、黙1: 4、3: 1、5: 4)
4. 四つの生き物(セラフィム「1獅子」「2雄牛」「3人間」「4鷲」)

5. ユダ族の獅子(勝利の王、再臨のキリスト)
ほふられたとみえる小羊(受難のしもべ、初臨のキリスト)

7つの封印で綴じられた巻物

大患難時代の前に天で起こる出来事
(4: 1~5: 14)

*ヨハネが天に招かれたのであり、携挙されたのではない
*ヨハネが見た様子、天の視点



創世記49：8～12「ユダの将来」

～祝福を受けるユダ～

49：8 ユダよ。兄弟たちはあなたをたたえ、あなたの手は敵のうなじの上にあり、あなたの父の子らはあなたを伏し拝む。 49：9 ユダは獅子の子。わが子よ。あなたは獲物によって成長する。雄獅子のように、また雌獅子のように、彼はうずくまり、身を伏せる。だれがこれを起こすことができるか。 49：10 王権はユダを離れず、統治者の杖はその足の間を離れることはない。ついにはシロが来て、国々の民は彼に従う。



49：11 彼はそのろばをぶどうの木につなぎ、その雌ろばの子を、良いぶどうの木につなぐ。彼はその着物を、ぶどう酒で洗い、その衣をぶどうの血で洗う。
49：12 その目はぶどう酒によって曇り、その歯は乳によって白い。

序言「まえがき」(1:1～3)

あいさつ(1:4～8)

I. ヨハネが見た事: 栄光に輝く人の子(1:9～20)

II. 今ある事: 教会時代(2:1～3:22)

III. この後に起こる事(4:1～22:5)

1. 大患難時代の前に起こる出来事(4:1～5:14)

★ 七つの封印を開く前の天の様子(4:1～5) 15

天使と24人の長老たちの礼拝(4:6～11) 16

七つの封印で封じられた巻物(5:1～7) 17

天での礼拝(5:8～14)

*天のオーケストラ 18

*被造世界の賛美について

2. 大患難時代(6:1～18:24)

(1)大患難時代の前半に起こる出来事(6:1～9:21)

(2)大患難時代の中間に起こる出来事(10:1～14:20)

(3)大患難時代の後半に起こる出来事(15:1～16:21)

(4)反復: 2つの大バビロン(17:1～18:24)

3. 再臨とその後に起こる出来事(19:1～20:3)

4. メシア的王国(20:4～6)

5. その後の出来事(20:7～15)

6. 永遠の御国(21:1～22:5)

結論(22:6～21)

18) 天での礼拝 (5 : 8 ~ 14)

5:8 彼が巻き物を受け取ったとき、四つの生き物と二十四人の長老は、おのおの、立琴と、香のいっぱいはいった金の鉢とを持って、小羊の前にひれ伏した。 **この香は聖徒たちの祈りである。** 5:9 彼らは、新しい歌を歌って言った。 「あなたは、巻き物を受け取って、その封印を解くのにふさわしい方です。 あなたは、ほふられて、その血により、あらゆる部族、国語、民族、国民の中から、神のために人々を贖い、 5:10 私たちの神のために、この人々を王国とし、祭司とされました。 彼らは地上を治めるのです。 」

5:11 また私は見た。 私は、御座と生き物と長老たちとの回りに、多くの御使いたちの声を聞いた。 その数は万の幾万倍、千の幾千倍であった。 5:12 彼らは大声で言った。 「**ほふられた小羊は、力と、富と、知恵と、勢いと、誉れと、栄光と、賛美を受けるにふさわしい方です。**」 5:13 また私は、天と地と、地の下と、海の上のあらゆる造られたもの、およびその中にある生き物がこう言うのを聞いた。 「**御座にすわる方と、小羊とに、賛美と誉れと栄光と力が永遠にあるように。**」 5:14 また、四つの生き物はアーメンと言い、長老たちはひれ伏して拝んだ。」

天のオーケストラ

1. 四つの生き物(セラフィム)と24人の長老(教会全体)

「あなたは、巻き物を受け取って、その封印を解くのにふさわしい方です。 あなたは、ほふられて、その血により、あらゆる部族、国語、民族、国民の中から、神のために人々を贖い、5:10 私たちの神のために、この人々を王国とし、祭司とされました。彼らは地上を治めるのです。」

2. 御使いたちの大集団(万の幾万倍、千の幾千倍)

「ほふられた小羊は、力と、富と、知恵と、勢いと、誉れと、栄光と、賛美を受けるにふさわしい方です。」

3. 被造世界全体

「御座にすわる方と、小羊とに、賛美と誉れと栄光と力が永遠にあるように。」

4. 四つの生き物はアーメンといい 長老たちはひれ伏して拝んだ。

IV. 結論：普遍的教会には最高の希望と場所が用意されている。

(1) 24人の長老たちとは普遍的教会のこと
その運命は次の通り

1. 携挙

2. 褒賞

3. 結婚

4. メシアとの共同統治

5. 永遠の御国、新しいエルサレムで

三位一体の神と共に住むようになる。

(2) 四つの生き物とは

- ① セラフィム(イザヤ書と**黙示録**のみに登場 “燃えている”)
- ② 謙遜で、天での礼拝を導く存在
- ③ 父なる神と子なる神とを絶えず礼拝している。
- ④ 教会が携挙された後、天においてともに父と御子を礼拝することになる。

(3) 生けるキリストがおられる場所

- ① 父なる神の右の栄光の座に着いておられる
- ② 目には見えないが、今も生きておられる
- ③ 御座の回りでは、絶えず礼拝が捧げられている

(4) 天のオーケストラとは

- ① 四つのグループによる天での礼拝
- ② セラフィムが礼拝を導く存在
- ③ 御使い、教会、被造世界がそれに従い
絶えず礼拝している

御座にすわる方と、小羊とに、
賛美と栄光と力が永遠にあるように。

黙示録を学ばれる兄弟姉妹に
主の特別な祝福がありますように！
アーメン



第3回講解 おわり

次回の予定

2016/4/16 (土) in元町

序言「まえがき」(1:1～3)

あいさつ(1:4～8)

I. ヨハネが見た事: 栄光に輝く人の子(1:9～20)

II. 今ある事: 教会時代(2:1～3:22)

III. この後に起こる事(4:1～22:5)

1. 大患難時代の前に起こる出来事(4:1～5:14)

2. 大患難時代(6:1～18:24)

(1)大患難時代の前半に起こる出来事(6:1～9:21)

第一の封印(6:1～2) 19

第二の封印(6:3～4) 20

第三の封印(6:5～6) 21

第四の封印(6:7～8) 22

第五の封印(6:9～11) 23

第六の封印(6:12～17) 24

患難時代に起こるリバイバル(7:1～8) 25

大患難時代から抜け出て来た異邦人信者(7:9～17) 26

(2)大患難時代の中間に起こる出来事(10:1～14:20)

(3)大患難時代の後半に起こる出来事(15:1～16:21)

(4)反復: 2つの大バビロン(17:1～18:24)

3. 再臨とその後に起こる出来事(19:1～20:3)

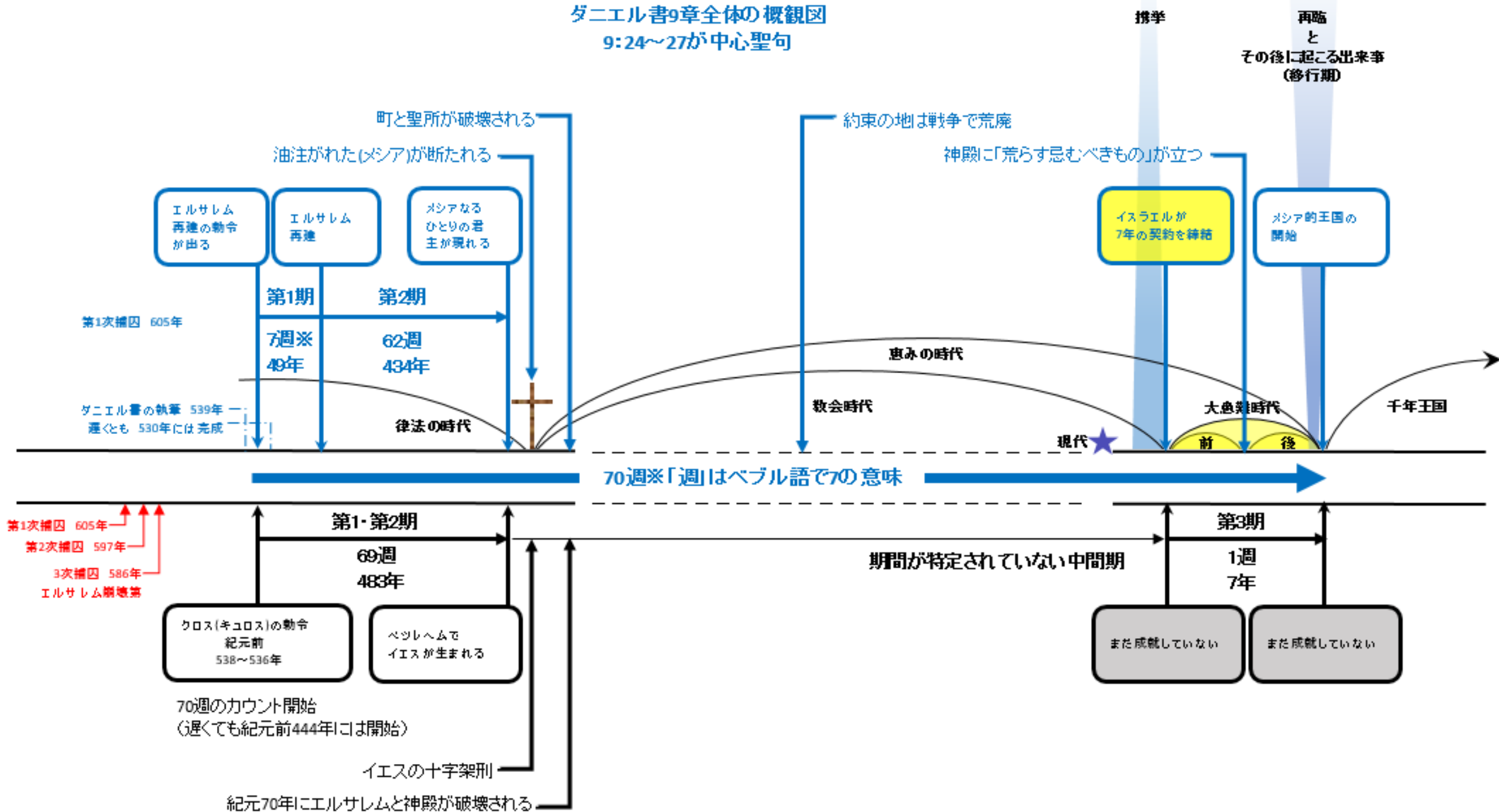
4. メシア的王国(20:4～6)

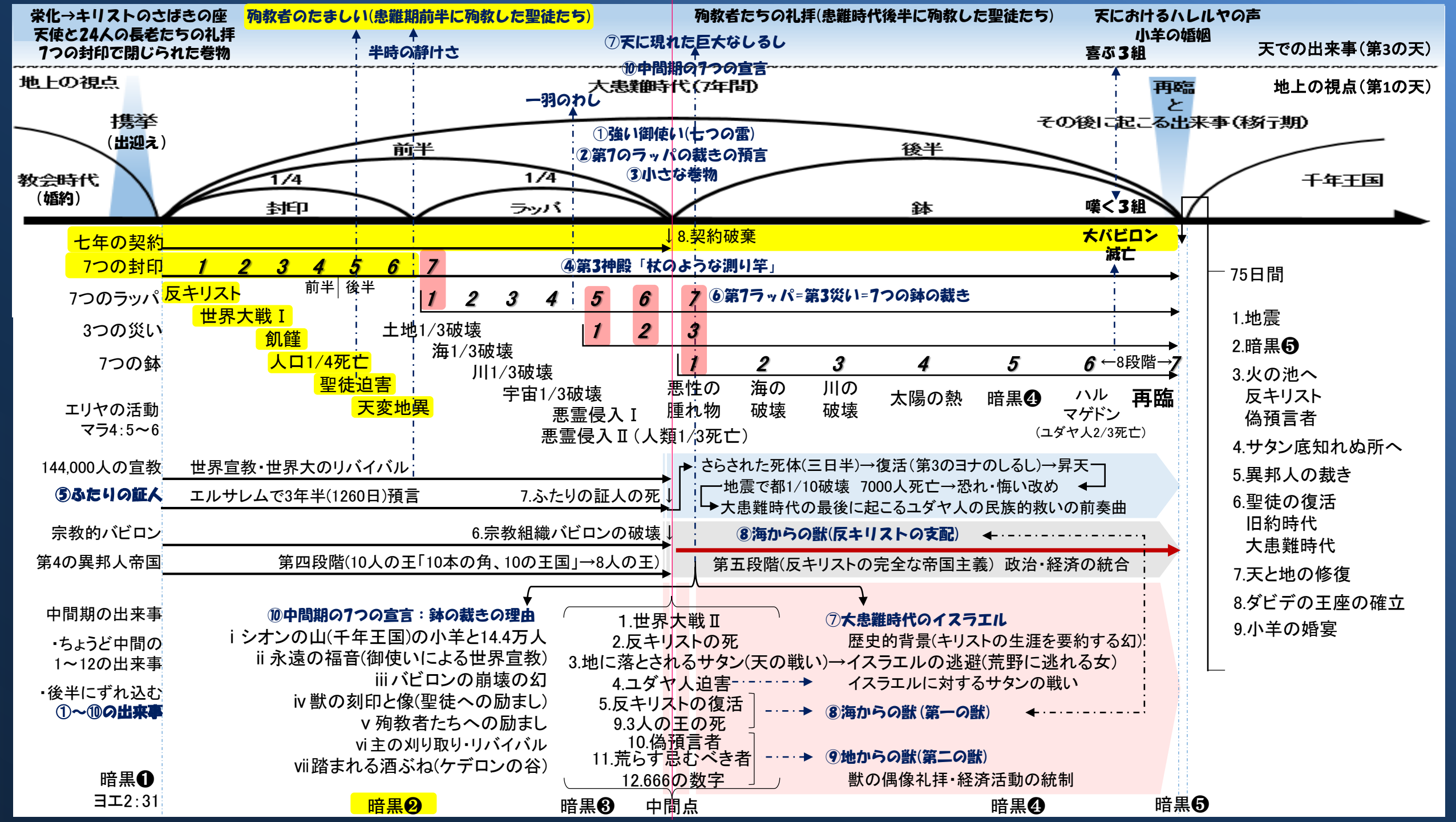
5. その後の出来事(20:7～15)

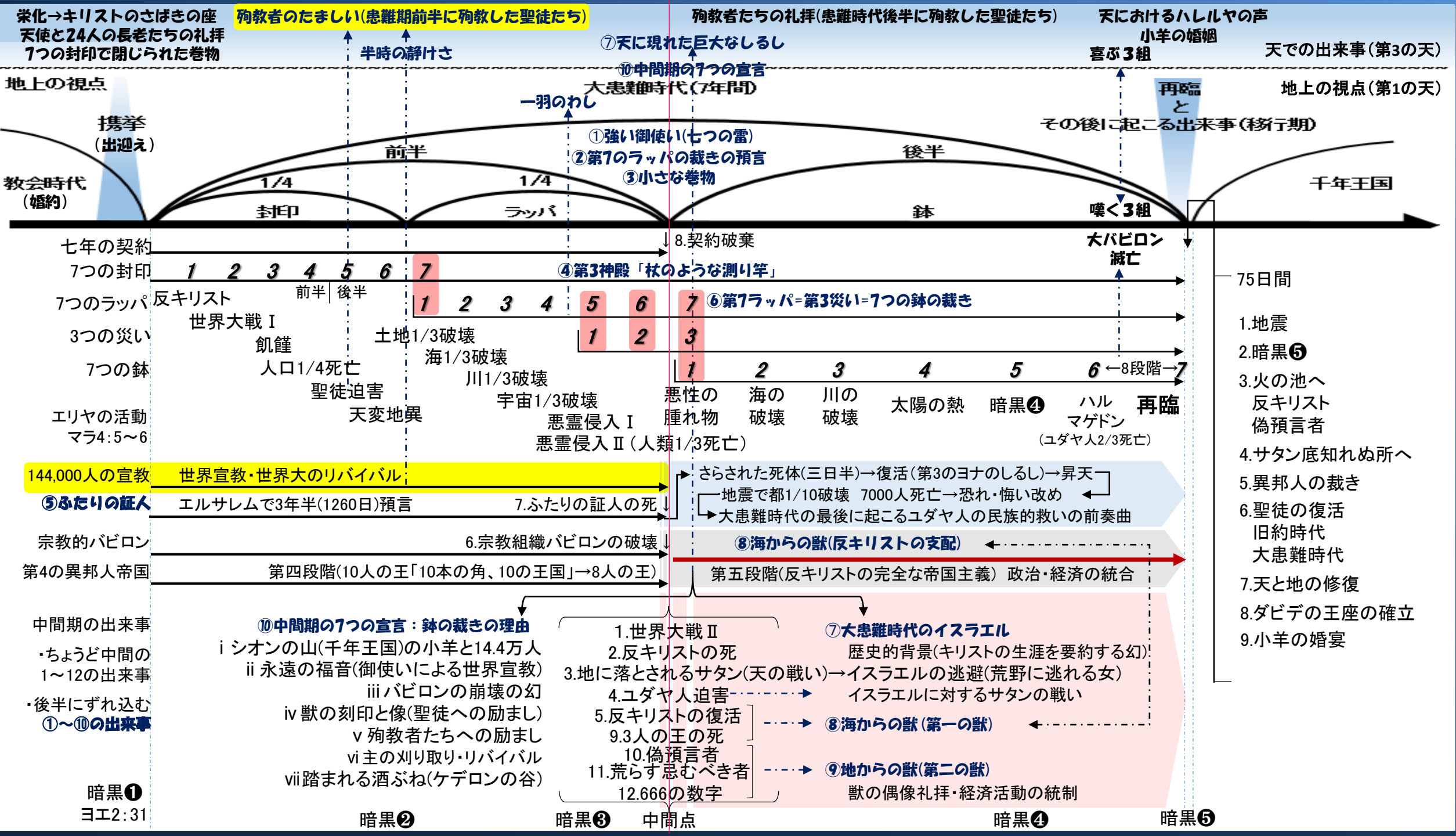
6. 永遠の御国(21:1～22:5)

結論(22:6～21)

ダニエル書9章全体の概観図 9:24~27が中心聖句







では学んだことを
分かち合いましょう！

